

目 次

1. 学校の概要、目標及び計画	(1) 学校名・校長名・所在地 (2) 本校の沿革 (3) 教育方針 (4) 教育目標 (5) 教育指導計画 指導の重点 本校在学中の取得資格
2. 学科等の教育	(1) 本校の特色 (2) 教育課程および年間授業時間数 美容科(昼間課程) 30年度入学生 31年度入学生～ (3) 日課表
3. 教職員	(1) 教職員 教員数 職員数
4. キャリア教育・実践的職業教育	(1) 方針 (2) 進路指導年間計画 (3) 進路指導組織
5. 様々な教育活動・教育環境	(1) 美容師国家試験対策 (2) 各種資格取得の実績 (3) 美容関連各種大会参加
6. 学生の生活支援	(1) 日常支援
7. 学生納付金・修学支援	(1) 31年度生徒納付金 (2) 就学支援
8. 学校の財務	本校ホームページにて情報公開
9. 学校評価	本校ホームページにて情報公開

学校の概要、目標および計画

(1) 学校名、校長名、所在地

学校名 専門学校東萌ビューティーカレッジ

校長 吉井 さとみ

所在地 埼玉県越谷市七左町1-337-3

(2) 本校の沿革

平成10年 3月 30日 埼玉県知事より専修学校の認可を受ける。

〃 4月 1日 厚生大臣より美容師養成施設の指定を受ける。

12年 2月 1日 日本エステティシャン協会より当協会認定校として認定される。

13年 3月 8日 文部科学大臣より、専門課程修了者が専門士と称することができる課程として認められる。

19年 4月 1日 日本メイクアップ連盟より認定校として認定を受ける。

27年 2月 17日 文部科学大臣により職業実践専門課程に認定される。

(3) 教育方針

笑顔と感動に包まれた教育の実践

(4) 教育目標

本校は、教育基本法に則り、学校教育法の規定に基づいて、次の諸目標の達成を目指す。

- ① 情操豊かで独創性に富んだ人材育成を目指す。
- ② 社会から必要とされる人間の育成を目指す。
- ③ 技術力、知識力、人間力の総合を美容師力とし、美容師力に富んだ人材の育成を目指す。

(5) 教育指導計画

(指導の重点)

- ① 美容師国家試験合格に向けて指導を徹底する。
- ② 美容に関する専門的な技術・知識等を総合的に修得できるよう指導する。
- ③ 社会人としての基本的マナーを身につけ実践できるよう指導する。

(本校在学中の取得資格)

- ① 美容師国家試験受験資格
- ② 日本エステティック協会認定エステティシャン
- ③ サービス接客実務検定 2級
- ④ 日本メイクアップ連盟 メイクアップ検定2級・3級
- ⑤ 日本ネイリスト協会 ネイリスト技能検定3級

学科の教育

(1) 本校の特色

- ① 厚生労働大臣指定美容師養成施設
- ② 日本エステティック協会認定校
- ③ 日本メイクアップ連盟認定校
- ④ 「専門士」称号付与校(美容科卒業生)
- ⑤ JR学生・生徒旅客運賃割の指定学校
- ⑥ 職業実践専門課程認定

(2) 教育課程および年間授業時間数

① 美容科(昼間課程)

(30年度入学生～)

教科 課 目	必修 選択 の別	1学年		2学年	
		単位数	授業時数	単位数	授業時数
必修 課 目	関係法規・制度	○	1 30	0 0	
	衛生管理	○	2 60	1 30	
	保健	○	2 60	1 30	
	化粧品化学	○	1 30	1 30	
	文化論	○	1 30	1 30	
	美容技術理論	○	2 60	3 90	
	運営管理	○	0 0	1 30	
	美容実習	○	15 450	15 450	
選 択 課 目	人文科学		2 60	2 60	
	美容サロンワーク		2 60	1 30	
	美容ケア		2 60	1 30	
	創作美容		1 30	1 30	
	美容モード理論		3 90	2 60	
	美容総合技術		0 0	3 90	
必修課目合計			24 720	23 690	
選択課目合計			10 300	10 300	
合 計			34 1020	33 990	

(3) 日課表

昼 間 課 程	
1 時 限	9:05 ～ 10:35
休 憩	10分
2 時 限	10:45 ～ 12:15
昼 休 み	45分
3 時 限	13:00 ～ 14:30
休 憩	10分
4 時 限	14:40 ～ 16:10
H R ・ 清 掃	16:10 ～

3. 教職員

(令和元年5月1日現在)

(1) 教職員

【教員数】

	校長	副校長	部長	主任	教員	助手	講師	計
男				1			1	2
女	1		1		1		7	10

【職員数】

	事務長	事務	計
男	1	2	3
女		2	2

キャリア教育・実践的職業教育

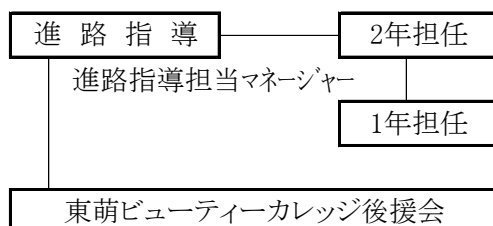
(1) 方針

指 針	個別適性を見極め、早期内定を目指す。
指 導 方 針	<ol style="list-style-type: none"> 1 就職情報を提供し適切な進路指導に努める。 2 自主的に情報収集するよう指導する。 3 サロン見学を積極的に行うよう指導する。 4 サロン訪問時のマナーを徹底させる。 5 担任との連携をとり、学生個人把握に努め、きめ細かい指導を行う。

(2) 進路指導年間計画

学年	月	予 定
2 年 次	4月	<ul style="list-style-type: none"> ・担任による個別相談 ・求人情報公開 ・外部就職ガイダンス自由参加
	5月	<ul style="list-style-type: none"> ・校内合同説明会(1回目) ・校内合同説明会(2回目) ・校内合同説明会(3回目)
	6月	<ul style="list-style-type: none"> ・サロン特別講義「就職活動に向けて」 ・サロン就職説明会(放課後随時実施) ・履歴書及び面接指導
	7月	<ul style="list-style-type: none"> ・サロン就職説明会(放課後随時実施)
	10月以降	<ul style="list-style-type: none"> ・就職未決定者個別指導(適時実施)
1 年 次	12月	<ul style="list-style-type: none"> ・進路希望調査の実施 ・個別相談開始
	1月	<ul style="list-style-type: none"> ・個別相談
	2月	<ul style="list-style-type: none"> ・就職レクチャー ・進路希望調査の実施(2回目)
	3月	<ul style="list-style-type: none"> ・IMS研修<(社)一生美容に恋する会> ・サロン見学(春休み課題)

(3) 進路指導組織



様々な教育活動・教育環境

(1) 美容師国家試験対策

美容師養成施設として、指導の最重点たる美容師国家試験の合格を目指して下記の対策を講じている

① 実技試験対策

- ・ 技術進度別授業体制
技術の進度に合わせた個別指導を実施。
- ・ 月次チェックテストの実施
月毎に実技のチェックテストを実施し、規定ラインに届いていない学生については放課後練習を実施
- ・ 実技検定試験の実施
国家試験に準じた方式による実技3課題の試験を実施。
3級(1年次)=進級検定試験(60点以上合格)
2級(2年次)=卒業見込取得検定試験(70点以上合格)
1級(2年次)=卒業検定試験(80点以上合格)
- ・ 通信生に対する国家試験実技対策セミナーの実施
通信制美容科の学生に対して、国家試験課題対策セミナーを実施。

② 学科試験対策

- ・ 基礎学力試験の実施
入学後、本校オリジナルテストを実施し、基礎学力の低い学生に対して補習授業を実施
- ・ 校内検定試験の実施
国家試験過去問題の中から授業進行に合わせた問題を選び試験を実施。
1年次に3回(6級・5級・4級:各60点以上合格)、2年次に3回(3級・2級・1級:3級60点以上合格
2級70点以上合格・1級80点以上合格)、計6回実施。
- ・ 補習授業の実施
基礎学力試験、検定試験の結果を踏まえ、成績の優れない学生に対し補習授業を実施
1年次に1週間1回程度、2年次4月～7月に1週間に2回・9月～3月は毎日実施。
- ・ 社会人検定の実施
社会人として通用する人材の育成を目的とし、衛生と接客の分野で実施している。
それぞれグループとしての評価と個人としての評価を行い、総合で合否を決める。
- ・ 国家試験直前の試験対策
過去問題およびオリジナル問題を中心に対策を実施。

(2) 各種資格取得の実績 (H30年度)

資格・免許等の名称	合格者数	合格率
美容師国家試験 昼間課程	32	69.90%
美容師国家試験 通信課程	17	73.90%
日本エステティック協会 認定エステティシャン	10	100.00%
日本メイクアップ連盟 メイクアップ検定3級	16	51.60%
日本メイクアップ連盟 メイクアップ検定2級	25	73.50%
日本ネイリスト協会 ネイリスト技能検定3級	7	58.30%
サービス接遇実務検定2級	19	61.30%

(3) 美容関連各種大会参加 (H30年度)

- ① SPC JAPAN主催「SPCワインディングコンテスト」
優秀賞(個人) 4名
- ② 株式会社ユーカリジャパン
入賞者(個人) 1名
- ③ JUHA JAPON FESTIVAL
入賞者(個人) 1名

6. 学生の生活支援

日常支援

本校は担任およびサポート教員による2名体制で生徒指導を行っている。
年度当初には全学生を対象として個人面談を実施し、生徒の把握に努めている。
出席不良、成績不振の生徒には、適宜面談を行い、問題点の把握、改善点を指導し、
場合によっては保護者を交えた面談もを行い、学校と家庭の連携による生徒支援を行っている。

7. 学生納付金・就学支援

(1) R元年度入学生学納金

(単位:円)

	入学手続き時	1年次後期	2年次前期	2年次後期
入 学 金	50,000	-	-	-
施 設 費	100,000	-	100,000	-
授 業 料	180,000	180,000	180,000	180,000
実 習 費	90,000	90,000	90,000	90,000
小 計	420,000	270,000	370,000	270,000
学 年 合 計	690,000		640,000	
学納金総額		1,330,000		

※ 上記学納金に加え、教材費35万円(平成30年度入学生実績)、
積立金20000円/月(4月～9月)が必要となる。

(2) 就学支援

経済的理由により就学が困難な方のために、奨学金制度、教育ローン等により経済的支援を行っている

- ① 日本学生支援機構奨学金制度
- ② 日本政策金融公庫
- ③ 株式会社オリエントコーポレーション 提携教育ローン
- ④ 株式会社ジャックス 提携教育ローン

8. 学校の財務

下記のアドレスにて(東萌ビューティカレッジホームページ)情報公開

<http://www.toho-beauty.jp>

9. 学校評価

<自己点検・評価>

下記のアドレスにて(東萌ビューティカレッジホームページ)情報公開

<http://www.toho-beauty.jp>